

医療を変える・福祉を変える・現場から変える



嘘をつかない 医療



2010年 9月 29日
国際医療福祉大学大学院
医療福祉倫理授業&
公開講座乃木坂スクール

新葛飾病院 院長
イムス葛飾ハートセンター 顧問



清水 陽一

差別意識の芽生えと克服

頭のよい子・悪い子・貧富
部落 朝鮮人 障害者

ノーマライゼーションとアブノーマライゼーションー

私の原点

クガイジョウド

- 弱者への思い

足尾銅山鉋毒
秩父困民党
水俣病

田中 正造氏
田代 栄助氏
原田 正純
石牟礼 道子

- 医学生時代

大学病院の医療事故を告発
⇒医療問題に取り組む

- 医療革命 高橋昶正 大熊由紀子

- 医療事故で父が死亡

⇒医療従事者と遺族の溝



ためされる生き方：時には自分をためす。

○状況主義者・権威主義者・出世主義者には
ならない。

○時代を切り開く気概をもち、立ち向かう。
そのためには一生涯学ぶ謙虚な心が大切

○出会いを大切にする。－えにし



関東大震災と朝鮮人虐殺

—天皇制—



冤罪

—死刑移植について考える—

狭山事件

松本サリン事件と河野義行氏

土田邸・日石ピース缶爆弾事件 18人逮捕

厚生省 村木局長えん罪事件

死刑：殺すな 殺されるな(福島菊次郎)

移植：世界の子供達 3秒に一人が死んでいる。
150円あれば救える命

嘘をつきました。

目標



自分がかかりたい病院をつくる。
患者の視点に立てる病院をつくる。

患者は医療者から学び、医療者は患者から
学ぶもの。

院長としてすべきこと

1) トップダウンとボトムアップ、モラルとモチベーションの維持。職員を大切に。

2) 3つのP: Philosophy, Passion, Practice



3) うそをつかない医療、患者のための医療

医療従事者に求められる事

1)

人への優しさ・大切に思いやる心
-人権-

2)

責任感

3)

誠実さ

病院の取り組み 1

院内医療被害者を招いて医療事故から学ぶ

第一回シンポジウム

「医療事故を考える」

胃管の誤挿入平成14年 6月 1日

- 明らかに過失がある場合、謝罪から始める。
- 過失がない場合、何回でも説明する。
- 不明の場合、第三者にゆだねる。



病院の取り組み2

他院医療事故被害者を招き院内の研修会を開く。

患者さんの視点での診療
患者さんの診療参加
患者さんの自己選択
診療情報の共有化



平成15年8月6日

医療被害者を医療安全の 担当者として採用

平成16年10月

被害者の気持ちができる
医療安全担当者



—ペイシェント・アドボケート—
(PA, 患者擁護者)

情報を開示し、ともに考える

新葛飾病院 東京都葛飾区 176床

清水陽一(99年院長就任、循環器内科)

- ▼「医療安全は病院長がやる」
- ▼「最後は患者に参加してもらう」
- ▼「一度嘘をついたら、それを隠すためにまた嘘をつ最後は開き直るしかなくなる」
- ▼「僕だっていつ豹変するか分からない。だから豊田さんにいてもらう」



豊田郁子(04年採用、セーフティマネジャー)

- ▼2003年3月 理貴ちゃん(5歳)を亡くす
誤診と引き継ぎミス 隠蔽
- ▼「これ以上、被害者も加害者も増やしてはいけない。もうこんな思いは、他の誰にもしてほしくない…」

(読売新聞の紹介記事より)

病院としての考え方

- 何故事故は事故防止に生かされないのか。

1) 病院長の問題

2) 医師の意識

3) ミスを認めるこわさ

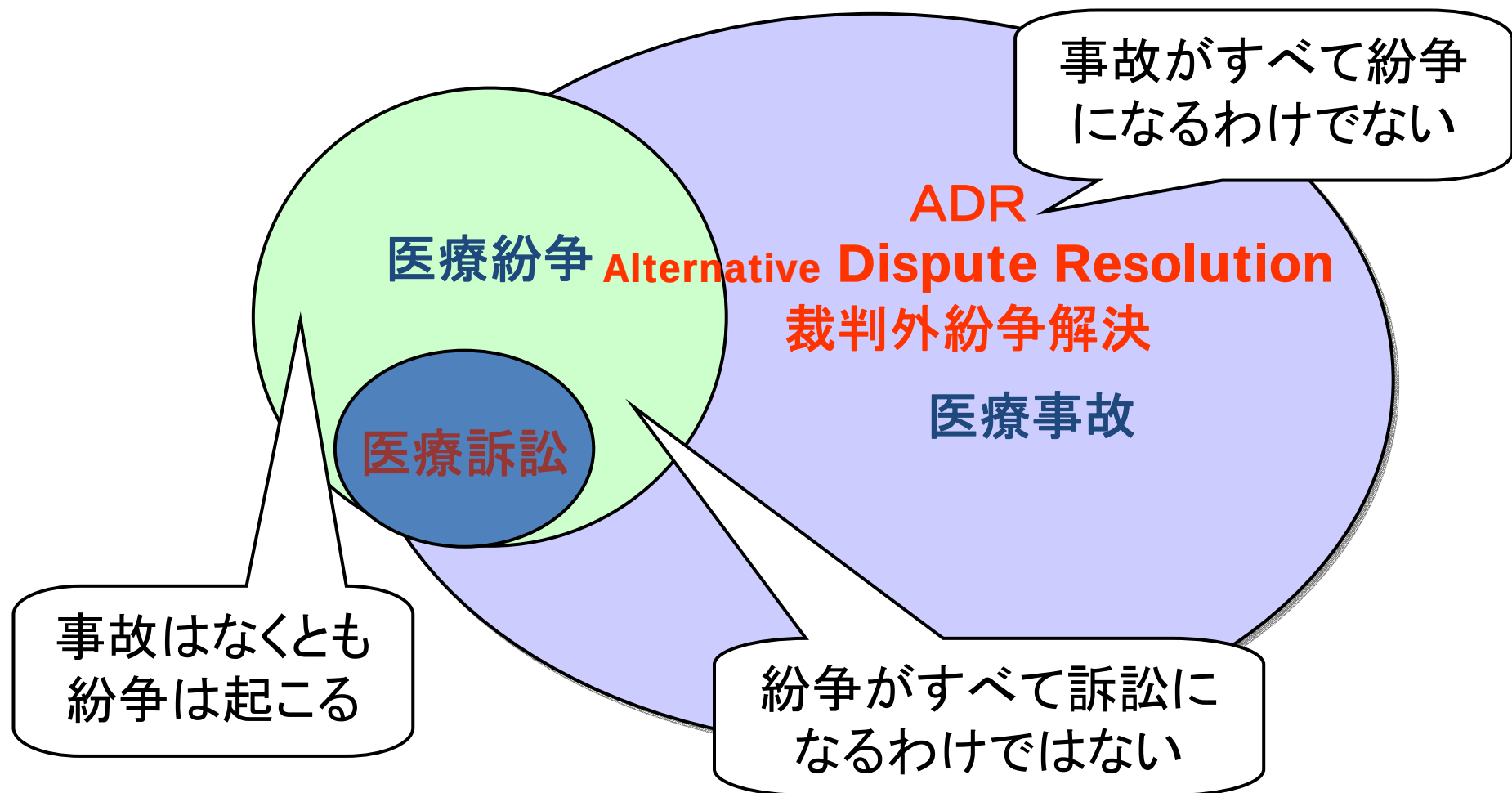


- 医療事故被害者の家族を医療安全担当者に。

- 医療事故が起きてしまったときの対応

隠さない・逃げない・ごまかさない

医療事故・医療紛争・医療訴訟



(稲葉一人教授)

**患者さんは
なぜ病院を訴えるのか!?**



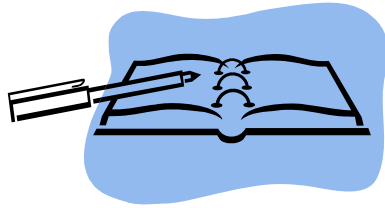
医療事故被害者の多くは、金銭
的要求のために医療訴訟を起こ
すわけではない。



- 訴訟を決意するモチベーション、

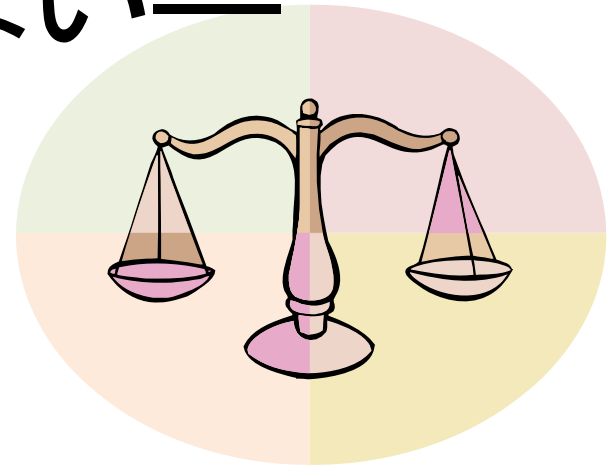
99%は“怒り”

- 人は、好きな人を訴えない



意見書を書き続けて

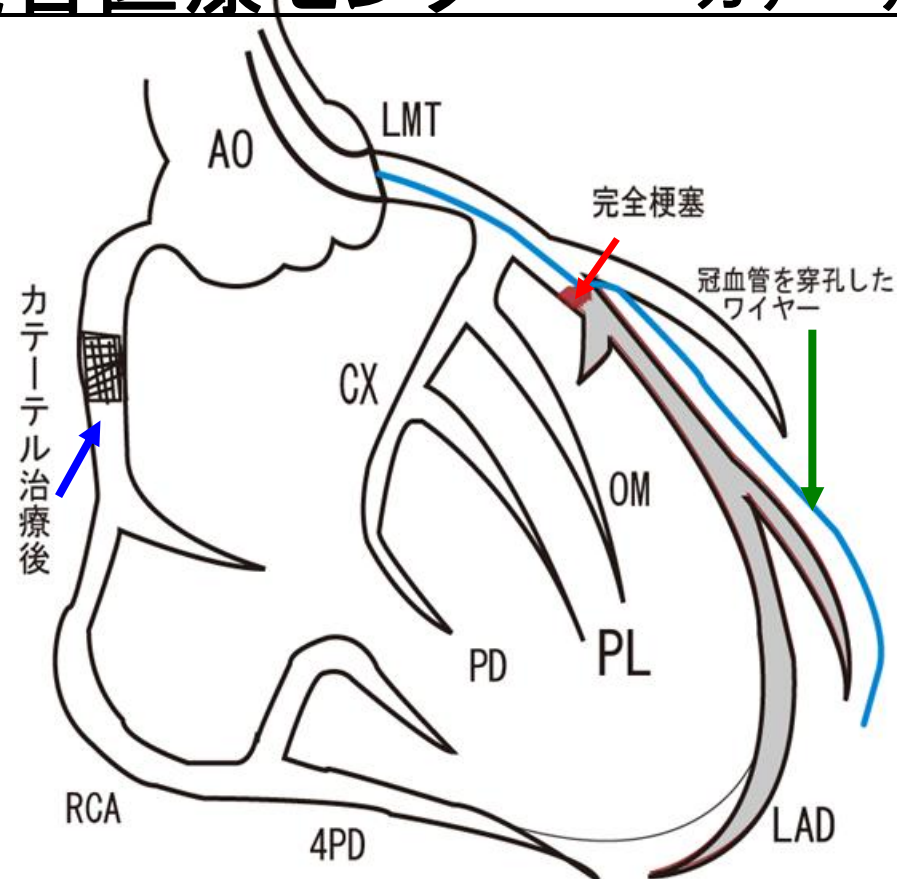
—裁判では救えない—



医療事故裁判例

素人では立証困難な例

国立災害医療センター・・・カテーテル治療による死亡



主張 患者側：死んでしまうなんて！！

病院側：合併症であり、不幸な例である。

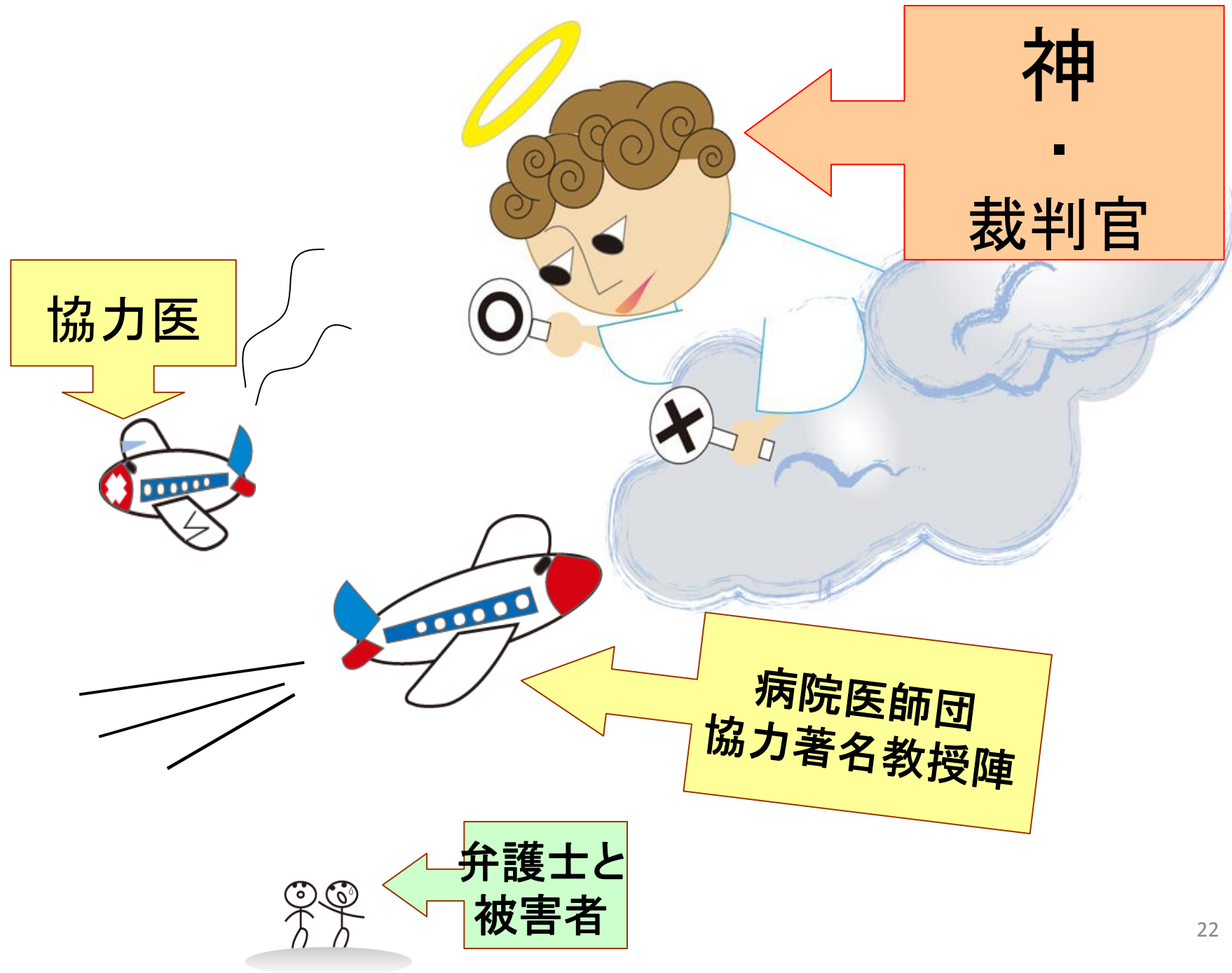
意見書 患者側：人道的に許されない行為で、止める勇気が必要だった。

病院側：正当な行為である。

国立循環器センター

循環器部長(京都大学臨床教授)

一審判決：過失を認定



医療事故が起きてしまった時、
医療者に求められる誠実な対応とは・・・

- 患者、家族と向き合う。
- 患者さんの声に耳を傾ける。(聴く)
- 相手の身になって考える。(想像する)
- 対話をもつよう努力する。

(コミュニケーション)

架け橋



～患者・家族との信頼関係をつなぐ対話研究会～

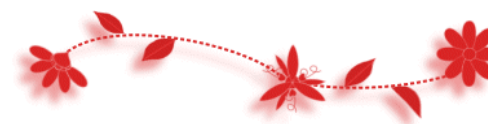
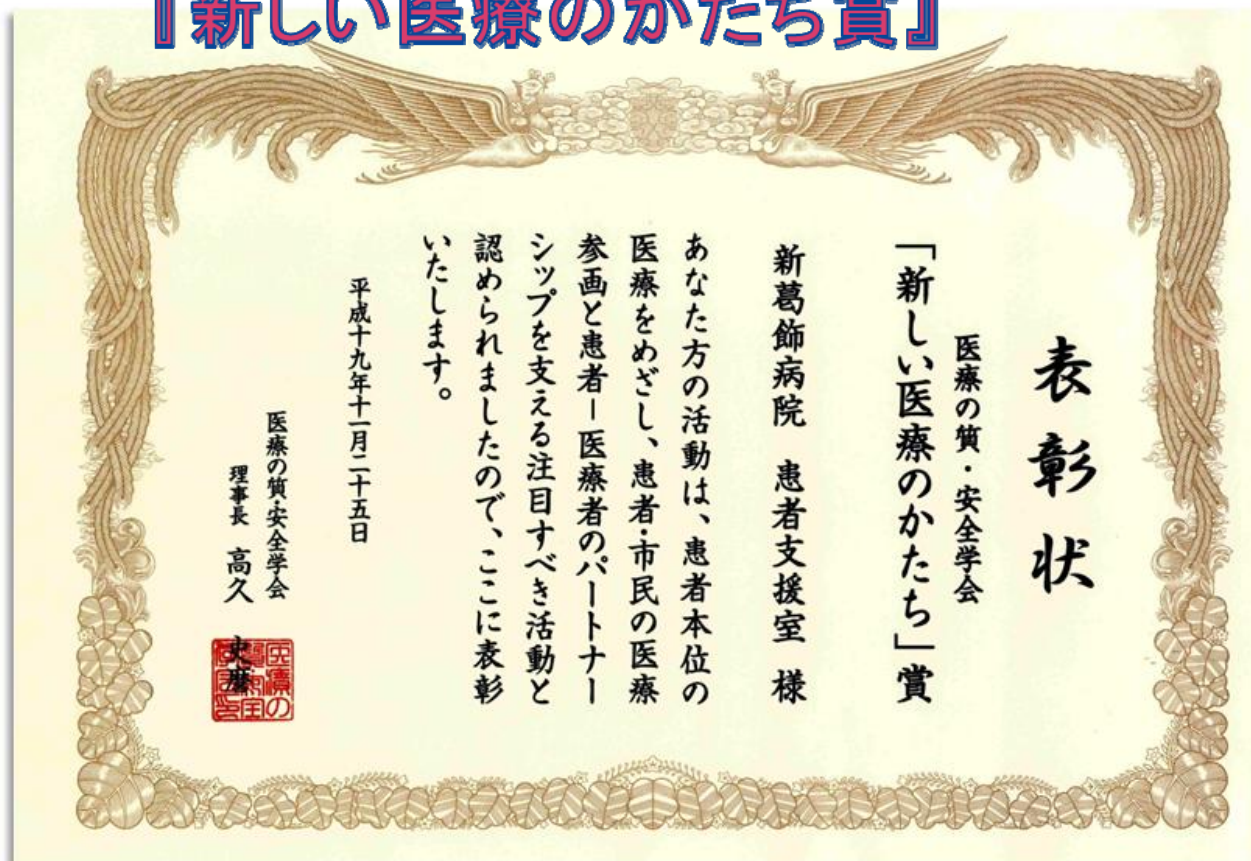
申し込みメール：medmed-kakehashi@nifmail.jp

FAX: 03-3697-1501

事務局 新葛飾病院 医療安全対策室

担当 杉本・豊田

『新しい医療のかたち賞』



後援
厚生労働省、文部科学省、日本学術会議、
日本病院団体協議会、日本医師会、日本看護協会
日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会
日本放射線技師会、日本臨床衛生検査技師会、
日本医療機能評価機構
日本品質管理学会



医療の現場でもためされる

癌の告知：真実を伝えればよいということではない。

事例 食道癌

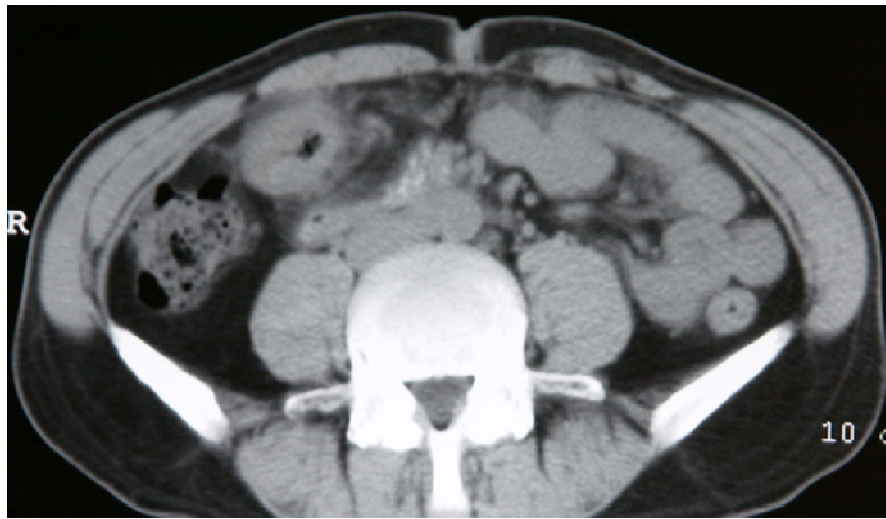
超高齢者への医療

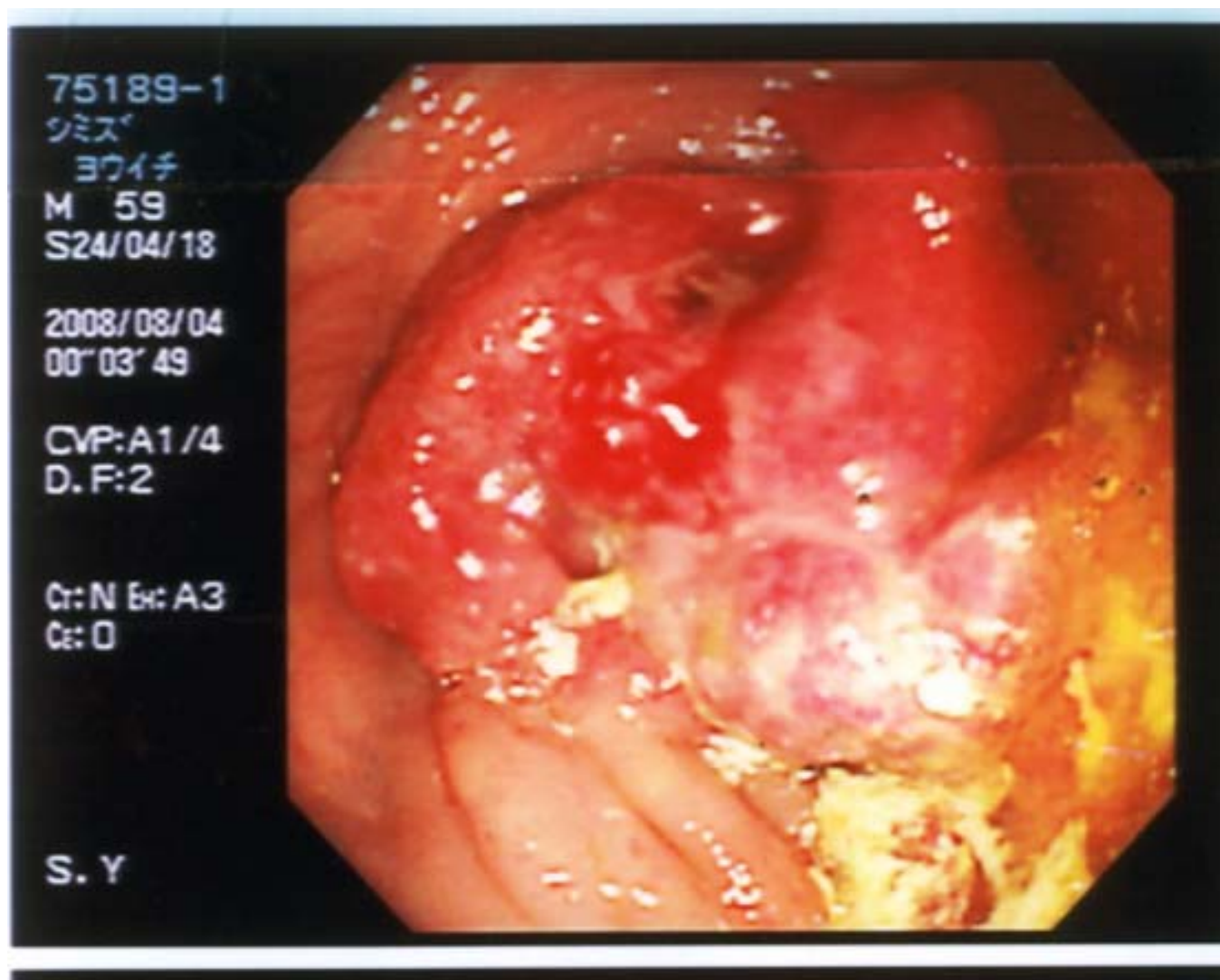
事例 97才肺炎
94才急性胆のう炎



CT

私の癌を公開いたします





病理



大腸生検: Poorly differentiated
adenocarcinoma

切除標本: 横行結腸の進行がん

リンパへの転移: 8/29

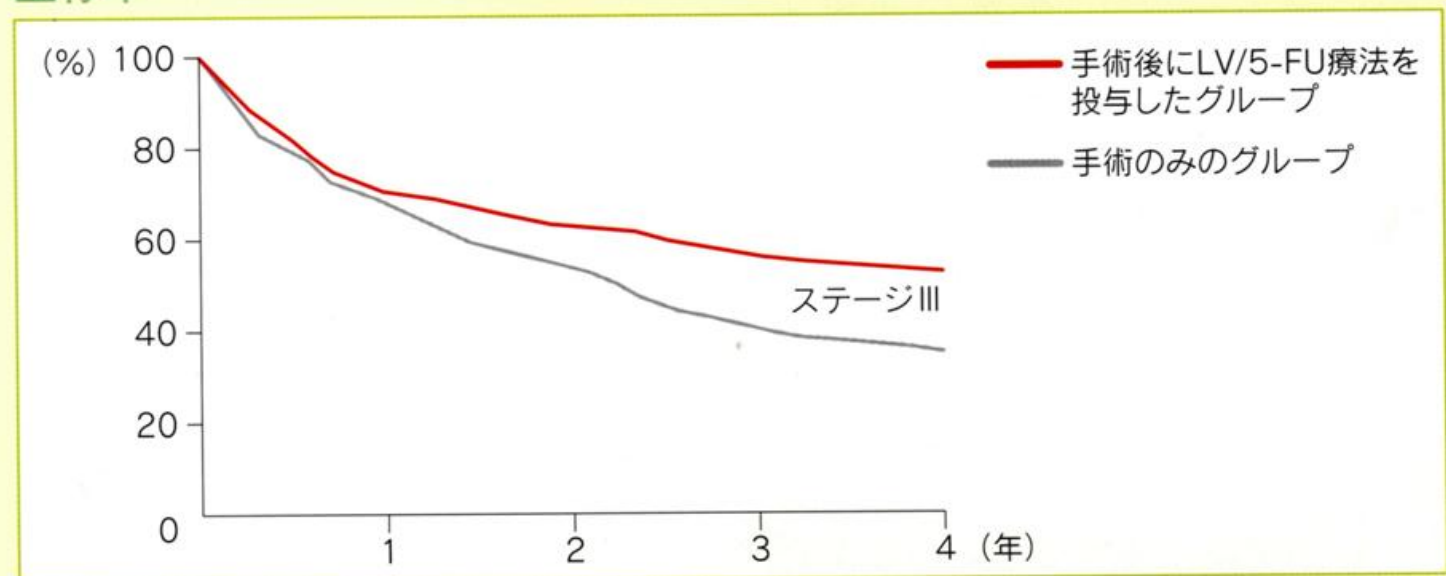
進行癌型: 2、癌性潰瘍: IV

リンパ管侵襲: 1y2, 静脈侵襲: V1

ステージIIIb

●術後補助化学療法としてLV/5-FU療法を受けた患者さんの無再発生存率*の推移

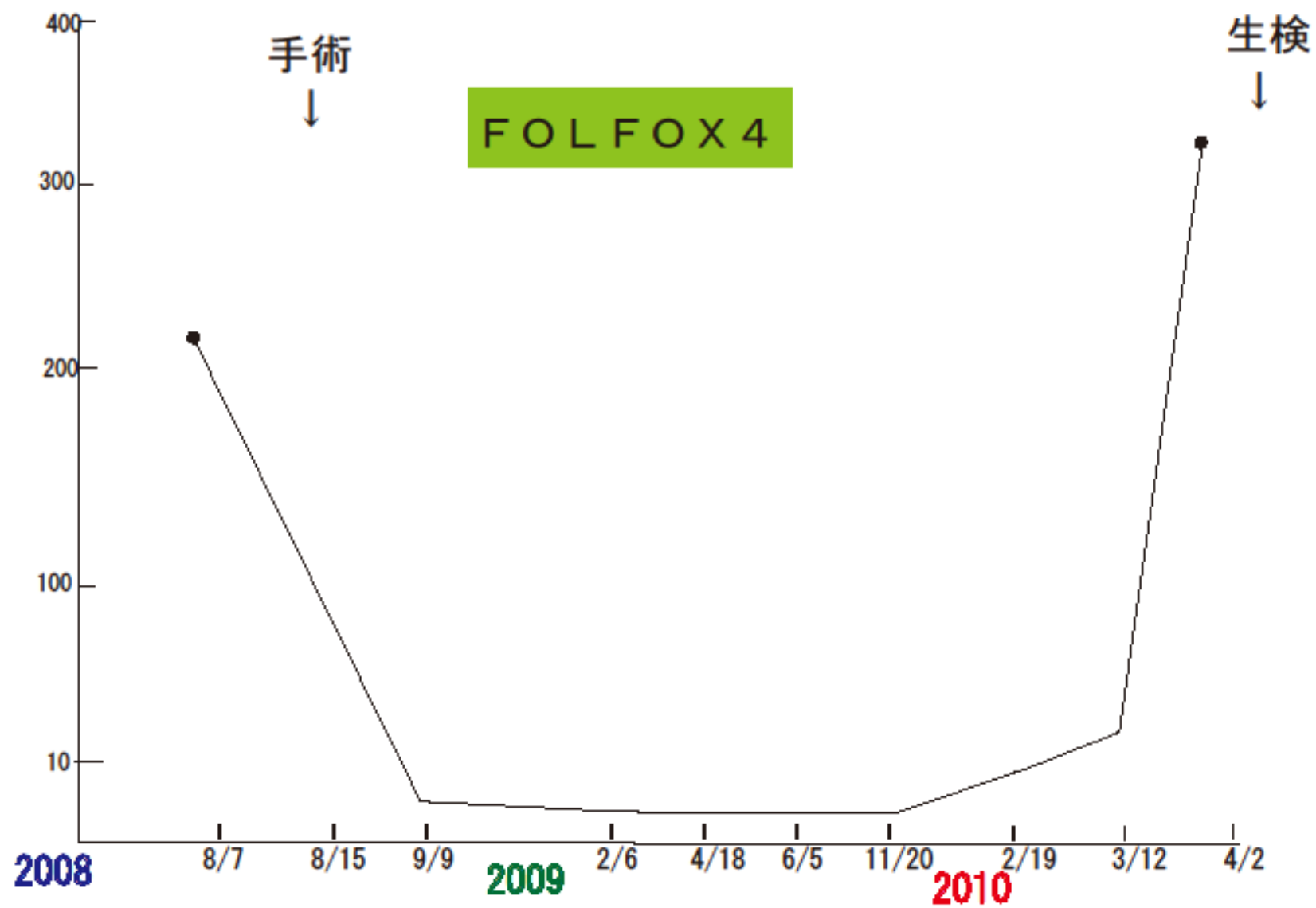
生存率



IMPACT:Lancet 345:939,1995より

*: 再発なく生存された患者さんの割合

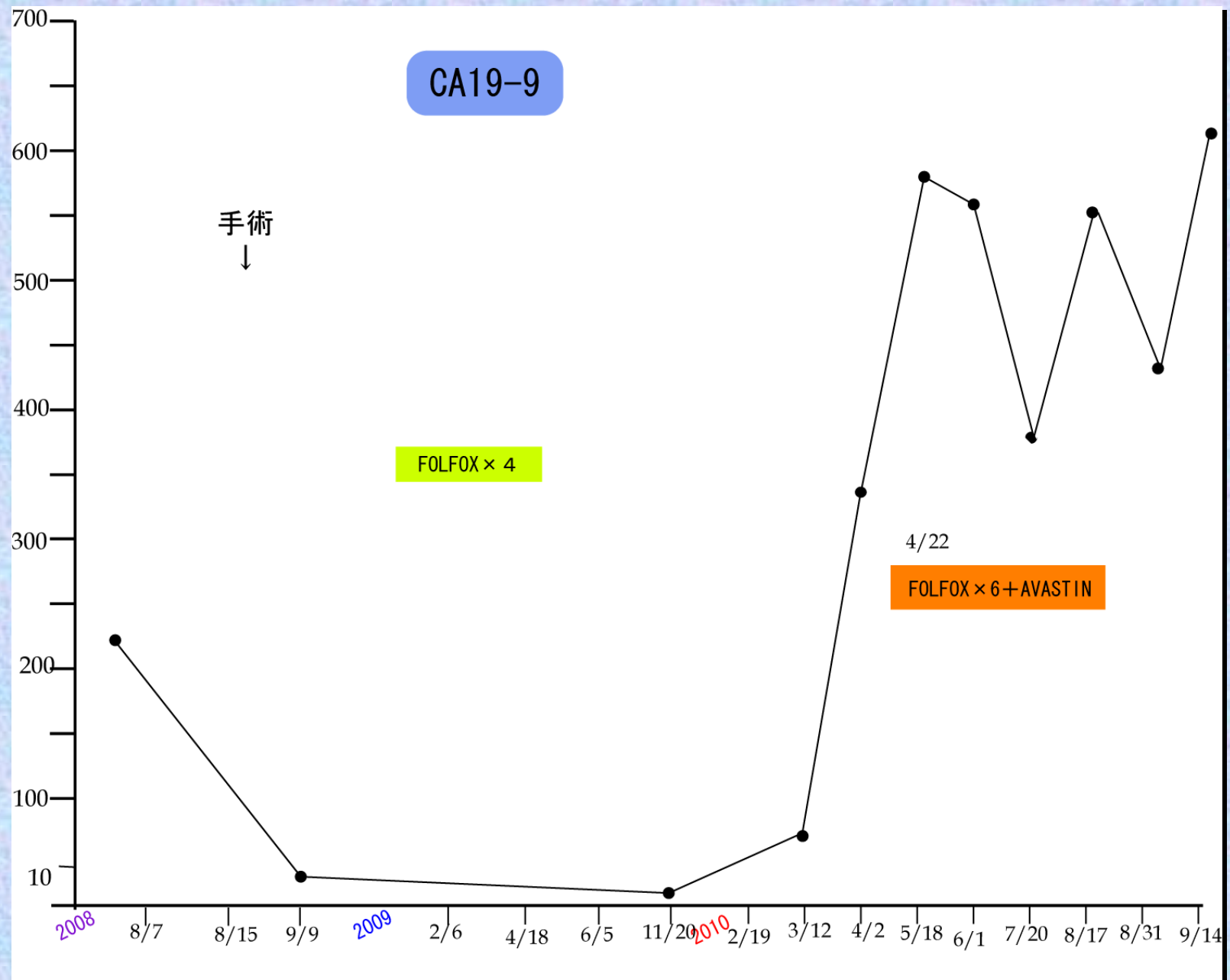
CA19-9



細胞診断

リンパ節 吸引 (CLASS V)

adenocarcinoma, Metastatic



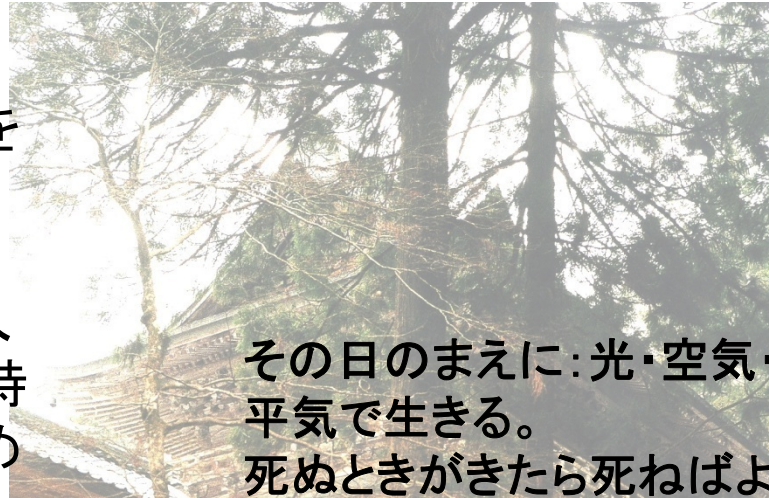


がん患者になって



鼻骨骨折、頸椎ヘルニア、
大腸がん、3回の全身麻酔を
受ける。

「患者の痛みがわかる、他人
の苦痛に対する思いやりを持
つことが医療の本質だと改め
て確信。」



その日のまえに: 光・空気・木・花・新鮮に感じ、
平気で生きる。

死ぬときがきたら死ねばよい。(宮崎禅師)

春は花 夏はほととぎす 秋は月
冬雪さえて 冷 (すず) しかりけり



一人は他人の死を通して死を学び、
自分の死を前にして生を意識する。一

癌患者を体験して

- 更に痛みを知る。
- 父 筋萎縮性側索硬化症。 医療事故死
- 母 レビー小体型認知症、 精神病院、胃瘻
- 自分 交通事故
- 頸椎症 手術
- 大腸癌 手術 術后 腸閉塞
- 抗がん剤治療 再発転移 副作用



奏でる歓び
生きる歓び

1枚の五円玉が心をつなぐ感動のドキュメンタリー

第二回『ご縁玉・プロジェクト』

INTER BAY FILMS PRESENTE

ご縁玉

GOENDAMA

パリから大分へ

監督：江口 方康

出演：山田 泉／エリック＝マリア クチュリエ

2010年9月3日(金)

開場 18:30～ 開演 19:00～

新風館 Re-Cue ホール

入場料 ¥3,500

■チケットのお問い合わせ

アールアンドダブリュー ☎ 0120-032-585

✉ info@randw.jp

主催：アールアンドダブリュー・「京都ご縁玉実行委員会」・INTER BAY



『長寿革命』



新しい「看取り」探す

読売新聞(11月18日朝刊)

看取る先に見えるもの

ズームアップ

毎週月曜日掲載

本紙で連載した「長寿革命」の取材で、末期の藤田保善さんを知りあった。先月29日に亡くなるまでの2週間、私たちが、毎日のように、東京の下町・葛飾区の新葛飾病院に通った。

藤田さんの最後の時間を、多くの人が支えていた。

15日。地元の水元公園への散歩では、介護タクシーの運転手さんがすすんで車を押す。長女(41)や友人夫妻も一緒だ。20近い杉の木の上にとまるシロサギに真っ先に気づいた藤田さんは、身近な「いのち」に敏感になっていた。

この日「景色をよく見たい。眼鏡を作りたい」と立ち寄った眼鏡店も、親切に対応してくれた。

22日。理容店の女性が、1時間かけて丁寧に髪を整え、硬いひげをそる。

夕方には、妻(67)や孫娘(14)もやってきた。藤田さんは、「もっと素直に生きなきゃ」「愛は強いつて言うだろう」と孫に最後のお説教をし、「(みなに聞まれて)ありがたいなあ」と口にした。

わずか1か月の入院だったが、自らも大腸がんを患う院長や主治医、看護師たちは、藤田さんの痛みをとりつつ、少しでも長く会話ができればよう腐心した。

29日未明、藤田さんは安らかに、74歳で逝った。

超高齢時代。看取りを支える態勢が問われる。藤田さんの笑顔が残したものは何だったのか。その答えを探していきたい。

(写真 秋山哲也 文 鈴木敦秋)



この日から会話ができなくなり、
家族が様子を気遣う。枕元には「ジ
イは私の誇り」とつづった孫娘の
手紙があった（10月28日）



藤田さんを見送る病院のスタッ
フ。「地域の病院として、出来る
限りのことをしたい」と清水陽一
院長（中央）は話す（10月29日）



yomiDr.
ヨミドクター

朝刊で連載を終えた「長寿革命」は、ヨミ
ドクター (<http://yomidr.jp/>) で掲載してい
ます。

地元の理容店の女性は散髪とひげそりに訪れた。「い
かがですか」とにこやかに声をかけた（10月22日）

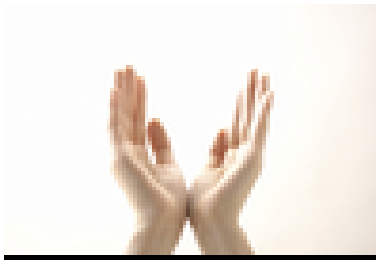


医療人として

人の役に立つことが、素直にうれしい。



医療福祉、介護に関わる人々と
この幸せを分かち合いたい。



その日の前に



ここから始まる人びとの物語。



「死」に直面した家族と、
交錯する様ざまな人の「生」——。
最高のスタッフ・キャストで綴る
感動の人生シンフォニー。

The Bend in the Road

その日のまえに

Now there is a bend in it.
I don't know what lies around the bend,
But I'm going to believe that the best does.



THE BEND IN THE ROAD

何が待ち受けているか楽しみです。



ああ、おもしろかった

